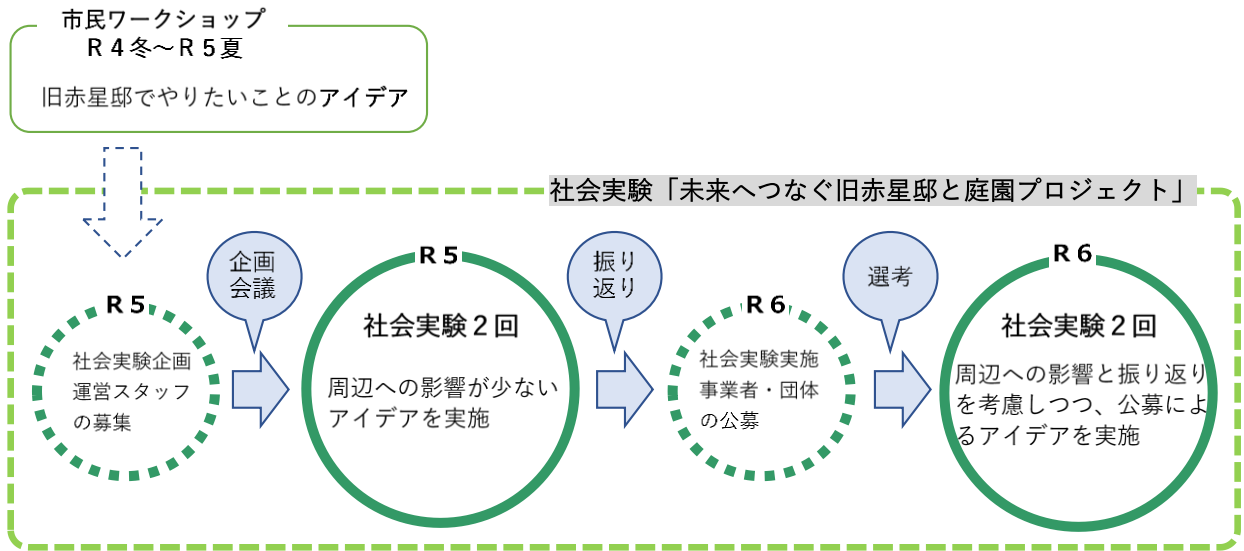


社会実験「未来へつなぐ旧赤星邸と庭園プロジェクト」の実施について

1 目的

良好な住居環境を害する恐れのない範囲や程度を見定め、利活用の可能性を探るとともに、適切な管理運営方法の検証や、近隣住民の理解を得られる施設開設を目指すことを目的に、ワークショップ参加者から出された意見や利活用アイデアを踏まえた社会実験を現地で行う。

社会実験は、「未来へつなぐ旧赤星邸と庭園プロジェクト」として2か年にわたり実施し、令和5年度は近隣への影響の度合いが少ないと想定される企画を2回実施し、令和6年度は実施する事業者や団体を公募したうえ2回実施する。



2 令和5年度の社会実験について

令和5年度に実施する社会実験の内容を自ら企画し、当日の運営も行う企画会議参加者を20名程度公募したところ25名の申込みがあり、申込者全員に参加決定通知を送付した。

回	日程	場所	活動内容
第1回 企画会議	8月27日(日)	第一小学校 旧赤星邸	これまでの取組の共有後に旧赤星邸を見学し、グループワークの実施と社会実験の方向性を話し合う。
第2回 企画会議	9月14日(木)	商工会館	第1回の企画会議意見をもとに、1回目の社会実験の企画と準備を行う。
第3回 企画会議	10月12日(木)		
第1回 社会実験	11月5日(日)	旧赤星邸	*雨天時の予備日:11月11日(土)
第4回 企画会議	12月8日(金)	商工会館	1回目の社会実験の結果を振り返り、2回目の社会実験の企画と準備を行う。
第5回 企画会議	1月18日(木)		
第2回 社会実験	2月4日(日)	旧赤星邸	*雨天時の予備日:2月10日(土)
第6回 企画会議	2月26日(月)	商工会館	2回の社会実験の様子や結果について報告会を実施する。

3 周辺環境に与える影響度の検証

《アクティビティ調査》

社会実験時の屋外利用状況に関して敷地内に滞在する利用者数、利用者属性、活動内容等のアクティビティ調査を実施する。

《音響環境調査》

社会実験を通して発生する音環境等を定量的に計測し、今後の活動内容・規模を検討する際のデータとする。また、近隣住民へのアンケート調査を実施し、どの程度の影響が生じたのかを検証していくこととする。

4 効果的な周知・広報

旧赤星邸の利活用検討に関しては積極的に情報を発信していくプロジェクトとして捉え、より効果的な周知・広報を行うため、新たに旧赤星邸に関するインスタグラムの公式アカウント（アカウント名：旧赤星鉄馬邸（武蔵野市）・アカウント ID：kyuakaboshitei）を開設し、社会実験の実施状況等の情報発信を行っていく。